

渡邊研究室

# ライブルウスの考察 JAZZとROCK

～新潟市のケーススタディ～

192031 土田奈々羽



---

## 背景

新潟市はアメリカ文化を広めることを目的として設立されたアメリカ文化センターの存在と、新潟地震復興に尽力したジャズの巨匠デューク・エリントンが名誉市民である関係で、「ジャズの街・新潟」を標榜しておりジャズ文化が根付いている。

一方、新潟市は日本海側唯一の政令指定都市であることから、ロックを中心としたライブハウスは10カ所、12会場立地している。

---

## 目的

本研究では、ジャズのライブ空間とロックのライブ空間の  
立地展開や経営方針から

ジャズに「温かいお金」の可能性が高く  
ロックに「冷たい貨幣」の可能性が高いのではないかと

という仮説を持ち、実地調査やヒアリングによって検証することを目的とする

---

## 「温かいお金」

「人と人との関係の中で使われるお金」のことで  
交換価値以上の価値が付与されたもの

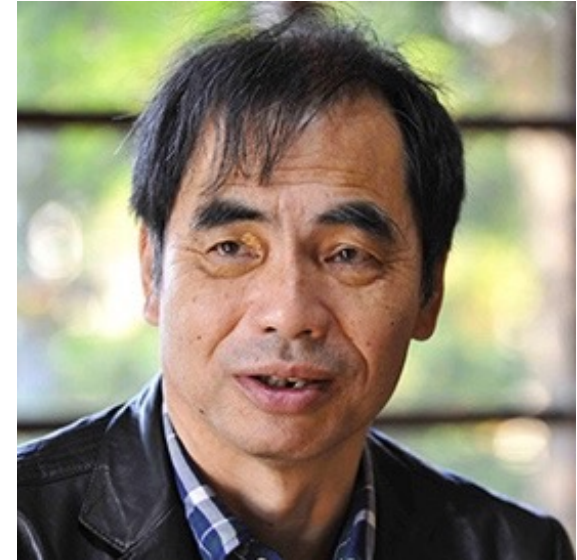
例：常連が店の維持のために払ったり、店側が演  
者からノルマを取らないことは継続的な関係  
を作り出す際に使われる贈与的なお金

---

## 「冷たい貨幣」

「貨幣上の価値以外何も付与されていないお金」の  
ことで交換価値以上のものはもたない

例：ライブハウスの経営を大きく支える一時的な収  
益や、出演者とのノルマのやり取り



出典：<https://images.app.goo.gl/3WcDGHSxUgmXF8Bp7>

哲学者 山内節

「怯えの時代」

# ライブハウスの歴史 ジャズ喫茶とロック喫茶



入門者  
コーナー

“絶大の人気と実績を誇る普及品の決定版”

Penki

**VEG-120**  
サンバースト

■寸法  
総寸法(約)×325(約)  
×20(厚)

■価格  
初回金 4,000円  
送料サービス

■寸法  
総寸法(約)×325(約)  
×20(厚)

■価格  
分納料金 2,000円  
支払回数 4回(4ヶ月)  
分納払価格 12,000円  
現金払価格 9,800円

**VSG-160**  
5Gタイプ  
ワインレッド

■寸法  
総寸法(約)×330(約)  
×21(厚)

■価格  
初回金 3,500円  
送料サービス

■寸法  
総寸法(約)×330(約)  
×21(厚)

■価格  
分納料金 3,000円  
支払回数 3回(3ヶ月)  
分納払価格 14,500円  
現金払価格 12,600円

**VLG-180**  
レスポールタイプ  
イエローワンダースト

■寸法  
1,000(全長)×330(約)  
×22(厚)

■価格  
初回金 8,500円  
送料サービス

■寸法  
1,000(全長)×330(約)  
×22(厚)

■価格  
分納料金 3,000円  
支払回数 3回(3ヶ月)  
分納払価格 17,500円  
現金払価格 15,500円



## 1950年代後半

ビジネスを主体としたジャズ喫茶が誕生。収入は演奏であり、出演者はミュージシャンを職業としていた。

## 1970年代前半

ロック喫茶が誕生。経済活動ではなく文化活動的なライブハウス。収入は飲食代からで、入場料は不必要。演奏の場がジャズ喫茶からライブハウスへ。

## 1970年代後半

ラジカセなどの普及により音楽の聴き方が変化。ジャズ喫茶の閉店が相次ぐ。ライブハウスの登場により楽器の所有化が進む。

## 1980年代

ライブハウスが社会的に認知される。ジャズ喫茶とロック喫茶の二つを起点とするシステム化されたライブハウスへ辿り着く。

---

## システム化されたライブハウス

システム化されたライブハウスは  
文化発信の場から経済活動の場として変化する。

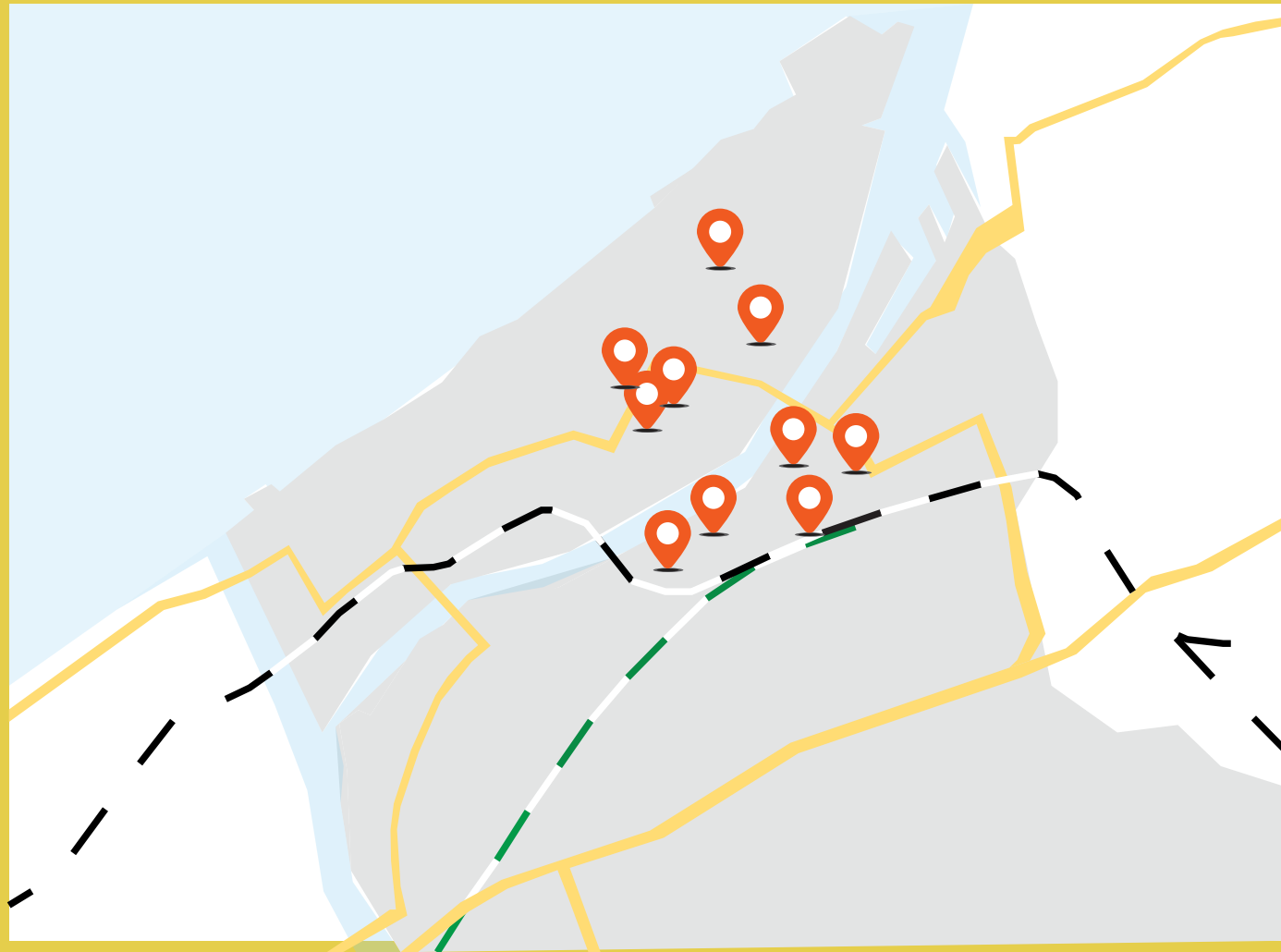
システム化が確立 → 音楽ビジネスとして成功  
ライブハウスは音楽を演奏する「目的」 → 利益を上げるための「手段」



---

# 新潟市のライブルウス分布状況

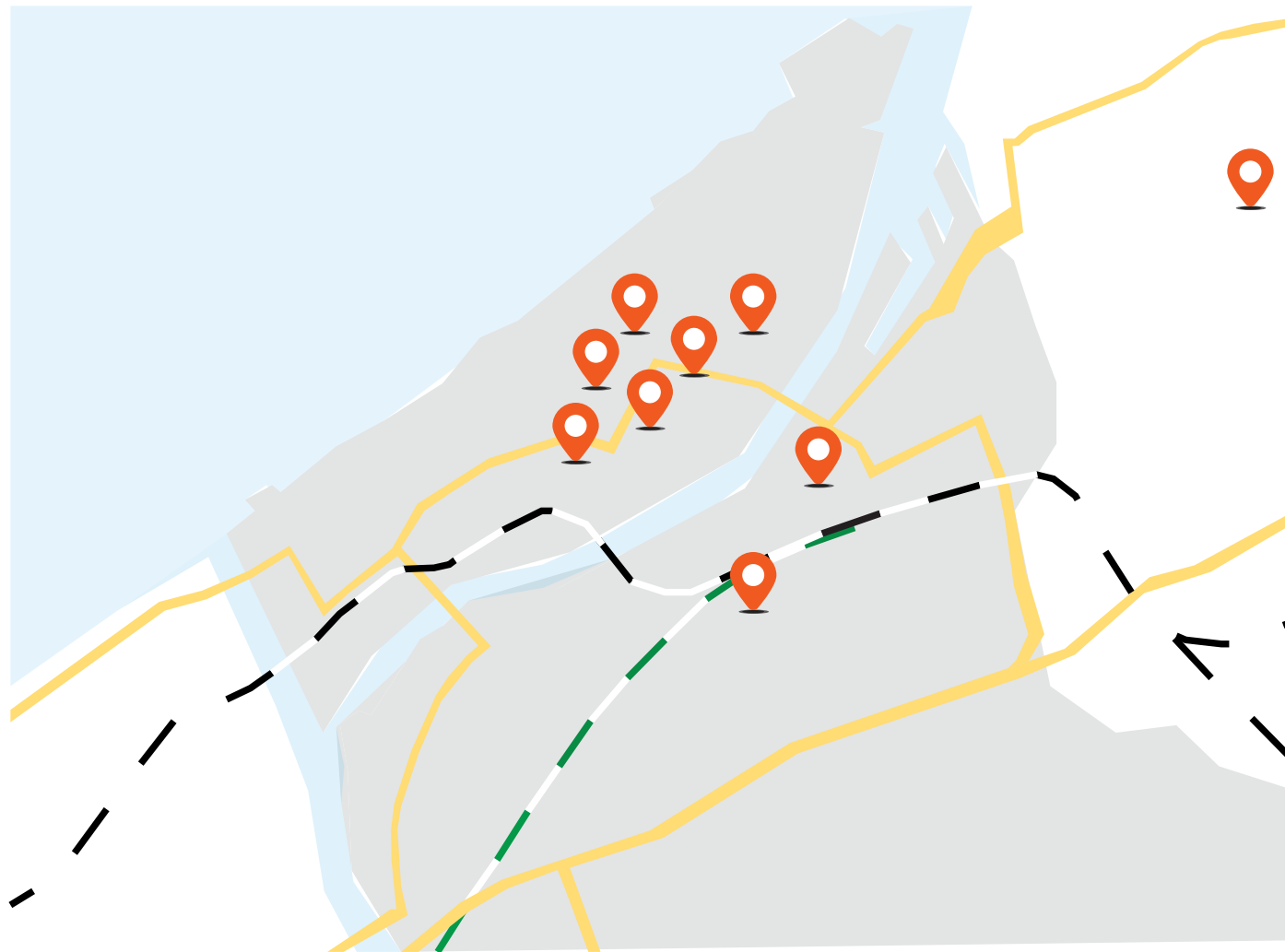
全10カ所 古町,万代に主に集中



---

# 新潟市のジャズ喫茶、ジャズBARの分布状況

全9カ所 古町に集中





# ノルマ

## 新潟CLUB RIVERST

### チケットノルマ条件

イベントの内容によって、チケット金額・ノルマが変動します。  
その都度お問い合わせ下さい。

例>平日の地元バンドのみ出演のライブ

- ・1人での出演の場合は1200円のチケット×10枚
- ・2人での出演の場合は1200円のチケット×15枚
- ・3人編成以上での出演の場合は1200円のチケット×20枚

※サポートメンバーやヘルプメンバーなどに関わらず、ステージで演奏するメンバーを出演者とカウントさせていただきます。

ノルマ該当額以降の売れに関して、50%チャージバックさせていただきます。

ノルマに満たない場合、不足分をお支払い頂きます。

チケット精算は、基本的に公演終了後行います。

チケットは金券です、残券は忘れずにお持ち下さい。

紛失時には該当額を頂かなくてはいけなくなりますので、取り扱いにはご注意ください。

## 新潟WOODY

### \*チケットノルマ料金

バンド(3人編成以上)は¥1000チケット x 20枚

一人での出演の場合は¥1000チケット x 10枚

二人での出演の場合は¥1000チケット x 15枚

\*ノルマ枚数超過分は1枚につき50%チャージバックさせていただきます。

\*ノルマ枚数に満たない場合は不足分をお支払い頂きます。

ホームページにノルマの記載あり

# JAZZ

## Jazz FLASH

### メニュー

ドリンク (8)

フード (2)

### ドリンク

コーヒー他、ソフトドリンク  
500円

コーヒー 500円 (アイス 600円)  
紅茶 500円 (アイス 600円)  
緑茶 (おかし付) 500円  
コーラ (瓶) 500円  
リンゴ酢ジュース 500円  
野菜ジュース (果汁入り) 500円  
トマトジュース 500円  
ウーロン茶 500円  
ジンジャーエール 500円

BEER  
500円～

エビス 600円  
ギネス黒 800円  
ハートランド 800円  
沼垂ビール (天の川、荒波) 各700円  
オールフリー 500円

ウイスキー  
500円～

### フード

### おつまみ

500円～

チーズ盛り合わせ 500円  
チョリソー・ソーセージ 500円  
豆・ポテトチップス・おかし 500円 (大盛800円)

### 軽食

300円～

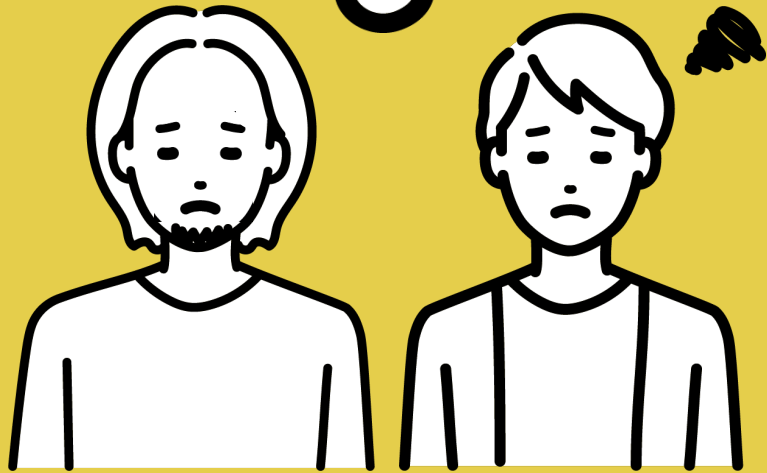
トースト 300円  
チーズトースト 500円  
特製ミートソーススパゲッティ (数量限定・夜間のみ) 700円



ホームページにノルマの記載なし  
フード・ドリンクメニューの記載あり

# ROCK

ノルマ代  
毎回きついなあ



# JAZZ

常連さんはいつもお金を  
落としていってくれますよ



---

## 結論

ライブハウスの収益：チケット代

ジャズ喫茶の収益：飲食代

ライブハウスは出演者に客を呼べない分ノルマを課す（チケットノルマ制）

ジャズ喫茶 贈与の気持ちを含む「温かいお金」

ライブハウス ノルマのやり取りなど一時的な関係の「冷たい貨幣」



会場規模別公演数線グラフ  
<https://www.acpc.or.jp/marketing/transition/stagehold.php>

## 経営困難の危機

ビジネスとして成功し規模を拡大していったライブハウスは2003年6,583個 → 2017年15,312個

コロナ禍で経営が厳しくなり閉店が相次ぐ  
 増加していったライブハウスは現在では需要に対し供給が低く、ロック一つで経営していくことが困難

---

## 提案

音楽を演奏する場としての喫茶店。  
新しいライブハウスの一形式として「ライブカフェ」の登場。

ライブカフェはジャズ喫茶のようなシステムでノルマがなく収益が飲食代から。「ジャズ喫茶の良さを取り入れたライブハウス」としてジャズの衰退に伴い、今後生きてくるのではないだろうか。